連帯のメッセージ

バイバイ原発３・１２きょうと

「さよなら原発福井県集会2016 in 小浜」にご参加の皆さまへ

東日本大震災そして福島原発事故から５年が経ちました。いまだ１０万人を超える住民が望まぬ避難を余儀なくされています。福島県における小児甲状腺がんの発生と原発事故との関連も指摘されており、これらに対する国と東電の責任は重大です。

にもかかわらず、関西電力は高浜原発３・４号炉の再稼働を強行しました。重大なことに、高浜原発４号炉は再稼働前後に立て続けに事故を起こし、送電開始を前に緊急停止しました。危険な再稼働を絶対に認めることはできません。

私たちの故郷・京都府を放射能で汚染させてはなりません。京都府北部３０キロ圏内１２万人の避難計画は成り立たず、３０キロ圏外は避難先も安定ヨウ素剤もありません。被ばくはごめんです。

２０１３年９月からほぼ２年間、原発稼働ゼロの下で暮らし、経済活動を行ってきました。４月１日より電力全面自由化が始まります。目先の電気代が高い安いだけが問題ではありません。原発を進めてきた電力会社から電気を買わずにすむことが重要なのです。

私たちは２０１２年から毎年３月、ここ京都・円山音楽堂で「バイバイ原発きょうと」を開き、脱原発を訴えてきました。

私たちは以下を決議し、その実現に向けて、一層輪を拡げ共に歩みます。

・原発のない社会をつくろう

・国のエネルギー政策を、再生可能エネルギー普及・原発ゼロに転換させよう

・高浜・川内、再稼働した原発を止めさせよう

・４０年超の老朽化した高浜原発１・２号炉、美浜原発３号炉は直ちに廃炉にさせよう

・福島原発事故によって奪われた健康と生活を、国と東電に補償させよう

２０１６年3月１２日
「バイバイ原発３・１２きょうと」参加者一同